

2016年 1月 13日

高松経済記者クラブの皆さま

脱原発アクション in 香川

代表 塚田 正昭

〒760-0022 高松市西内町 7-25

TEL:087-813-0715

本件問合せ先：090-8698-2114（名出）

1.22 四国電力への要請行動について

私たちは、福島第一原発事故をきっかけとして、会社員や主婦、宗教者、教員、自営業者などが集まって2011年5月に発足し、3か月毎の原発さよならウォークを始め、四国電力や自治体への要請行動や講演会、上映会の開催などに取り組んでいる市民団体です。

昨年11月29日には、中四国、九州の他の市民団体と連携しての「伊方原発を再稼働させない高松大行動」を行い、30日にはそれらの団体とともに以下のような項目について四国電力に質問・要請を行いました（主な質問への回答については裏面参照）。

- | | |
|------------------------|-------------------|
| 1.長期広域停電問題、 | 2.水蒸気爆発問題 |
| 3.佐田岬半島の避難困難者問題 | 4.再稼働の必要性 |
| 5.日本原燃、原子力研究開発機構への出資問題 | 6.三菱製蒸気発生器問題 |
| 7.中央構造線活断層帯 | 8.事故発生確率の過小宣伝問題 |
| 9.工事計画認可の黒塗り白抜き補正書問題 | 10.住民説明会の開催否定 |
| 11.基準地震動の過小評価問題 | 12.放射性廃棄物処理施設立地問題 |

引き続き、1月22日（金）に裏面の項目について、下記の通り、四国の各市民団体とともに四国電力に質問・要請を行いますので、お知らせいたします。

記

四国電力への要請行動について

日時：2016年1月22日（金） 14:00～

場所：四国電力本社

（それに先立って12:30より四電本社前で街頭宣伝）

参加団体： 脱原発アクション in 香川、さよなら四国ネットワーク、グリーン市民ネットワーク高知、

さよなら原発とくしま実行委員会、脱原発市民ネットワーク徳島、未来を考える脱原発

四電株主会 (予定)

【裏面へつづ

く】

1月22日(金)の質問項目

- 1.八幡浜ミカン農家が四電に求めている補償問題。
2. フィルター付きベント問題
- 3.緊急時事故収束作業員について

以下は前回交渉の積み残し事項

- 4.基準地震動 650ガルを超える地震の想定
- 5.水蒸気爆発問題
- 6.住民説明会（八幡浜市の住民投票直接請求を受けて）
- 7.避難問題
- 8.放射性廃棄物問題
9. 事故発生確率の過小宣伝問題
10. 愛媛県議会でのこれまでのやり取りから

11月30日の主な質問に対する回答 (詳しくは別紙のテープ起こし記録参照)

Q：伊方原発は8ヶ月間の長期広域停電に耐えられますか？

A：非常用ディーゼル発電機が2週間うごかせる。燃料もあらゆる手段で運ぶので外部電源がなくても問題ない。

Q：そもそも火力発電所の津波対策が原発再稼働より優先ではないか？

A：使用機器の浸水対策をしている。坂出、西条の発電所は1ヶ月以内程度で復旧できる

Q：コアキャッチャーが必要ではないのか？格納容器下部に水を貯めて溶解炉心を冷やすやり方では水蒸気爆発を起こすのではないか？

A：コアキャッチャーは性能要求で絶対必要ではない。格納容器内に注水して下部に水を貯めることによるリスクは、確率論的リスク評価が行われているところで答えられない。水蒸気は発生するが格納容器を破損するほどにはならない。

Q：佐田岬半島の住民が避難できない。

A：事業者は事故が起きないようにすることが仕事で、住民避難は県や市町がすること。要請があればできることは協力する。